

研究課題名	脳卒中患者における情動障害の実態解明及び機能予後への影響に関する包括的研究
研究期間	2025 年 7 月 28 日 ～ 2028 年 3 月 31 日
研究の対象	2025 年 4 月～2027 年 3 月の間に医療法人光臨会荒木脳神経外科病院に脳卒中（脳梗塞もしくは脳出血）の診断で入院された（される）患者さん
研究の目的・方法	研究目的：脳卒中を発症された患者さんの情動（発症後の感情反応）の障害の実態及びリハビリテーションにおける回復への影響を明らかにすることです。 研究の方法：研究対象となる患者さんの診療録（カルテ）及びリハビリテーションデータベース内にあるデータを使用して、情動障害の実態及び回復への影響について解析します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：カルテ番号、年齢、性別、診断名、病巣に関する情報、既往歴、入院日、発症日、リハビリテーション開始日、退院日、日常生活動作能力、運動・感覚機能、認知機能、うつ・情動障害評価等 情報の管理責任者： 広島大学大学院医系科学研究科リハビリテーション情動科学 准教授 猪村剛史
利用または提供を開始する予定日	2025 年 7 月 28 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	荒木脳神経外科病院からは個人情報加工後のデータの提供を受けるため、個人を特定できる情報は含みません。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科リハビリテーション情動科学 准教授 猪村 剛史 既存情報の提供機関 医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院 院長 荒木 勇人
その他	特記事項はありません。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方にご了承いただけない場合は、研究対象としますので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。

	なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島大学大学院医系科学研究科リハビリテーション情動科学 准教授 猪村剛史 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5406
--	--